

疾患別保険適用治療法一覧

治療法および 保険適用 疾患	PE	DFPP	PA					HA
	プラズマ フロー OP	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + カスケード フロー EC など	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + プラソーパ BRS	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + イムソーパ PH	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + イムソーパ TR	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + セレスープ	プラズマ フロー OP など血漿 分離器*1 + リボソーパ LA	ヘモ ソーパ CHS など
多発性骨髄腫	●	●						
マクログロブリン血症	●	●						
劇症肝炎	●		●					
薬物中毒	●							●
重症筋無力症	●	●			●			
悪性関節リウマチ	●	●		●				
全身性エリテマトーデス	●	●		●		●		
抗カルジオリピン抗体 症候群						●		
血栓性血小板減少性紫 斑病	●	●						
重度血液型不適合妊娠	●	●						
術後肝不全	●		●					
急性肝不全	●	●						
多発性硬化症	●	●		●	●			
慢性炎症性脱髄性多発 根神経炎	●	●		●	●			
ギラン・バレー症候群	●	●		●	●			
天疱瘡	●	●						
類天疱瘡	●	●						
巣状糸球体硬化症	●	●						

治療法および 商品名 保険適用 疾患	PE	DFPP	PA					HA
	プラズマ フロ OP	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + カスケード フロ EC など	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + プラソーバ BRS	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + イムソーバ PH	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + イムソーバ TR	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + セレゾーバ	プラズマ フロ OP など血漿 分離器*1 + リボソーバ LA	ヘモ ソーバ CHS など
抗糸球体基底膜抗体 (抗 GBM 抗体) 型急 速進行性糸球体腎炎	●	●						
溶血性尿毒症症候群	●	●						
家族性高コレステロー ル血症	●	●					●	
閉塞性動脈硬化症	●	●					●	
中毒性表皮壊死症	●	●						
スティーブンス・ ジョンソン症候群	●	●						
血友病	●	●						
同種腎移植・同種肝移植		●						
慢性 C 型ウイルス肝炎	●	●						
川崎病	●	●						
抗白血球細胞質抗体 (ANCA) 型急速進行性 糸球体腎炎	●	●						
肝性昏睡								●
潰瘍性大腸炎								
クローン病								
関節リウマチ								
膿疱性乾癬								
透析アミロイド症								
腎不全								
敗血症								
重症急性膵炎								
難治性胸水症、腹水症								

PE：血漿交換療法，DFPP：血漿交換療法（二重濾過血漿分離交換法），

PA：血漿交換療法（血漿吸着法），HA：吸着式血液浄化法（血液吸着），

*1：具体的商品名については，1 章 2-A「膜分離」の表 1 参照（22～23 頁）

●印…適用となる治療法

		GMA	LCAP		CRRT		CART	算定方法に伴う 留意事項
トレミ キシ ン PMX	リクセル	アダカ ラム	セルソーバ EX	セルソー バCS	エクセル フロー/ ヘモフィ ールSHβ/ ヘモフィ ールCH など	セブザ イリス	AHF-MOW + AHF-UP など	
								1クール（2週間）につき7回、一連につ き2クールを限度
								一連につき21回を限度
								一連につき3月間に限り10回を限度
								一連につき8回を限度
								一連につき8回を限度
								一連につき術前は4回、術後は2回を限度
								5回を限度
								一連につき6回を限度
								1クール（2週間）につき7回、一連につ き2クールを限度
		●	●					一連につき10回を限度 ただし、劇症患者 については11回を限度
		●						一連の治療につき10回を限度
				●				一連の治療につき1クールを限度。1ク ールにつき週1回を限度とし5週間に限る
		●						一連の治療につき1クールを限度。1ク ールにつき週1回を限度とし5週間 に限る
	●							
					●			
●						●		トレミキシンは2回を限度。 CRRTは8回を限度
					●			一連につき概ね8回を限度
							●	手技料は2週間に1回手術料として算定 医療材料は回数制限なく毎回算定可能

LCAP：血球成分除去療法，CRRT：持続緩徐式血液濾過，

CART：胸水・腹水濾過濃縮再静注法

